

森林を守り育て 未来につなぐ



第8回定時社員総会の開催

- 令和3年6月16日（水）、福島市「キョウワグループ・テルサホール（福島テルサ）」において、ふくしま緑の森づくり公社の第8回定時社員総会を開催しました。
- 井出孝利理事長のあいさつに続き、令和2年度決算、令和3年度賦課金の徴収、役員の選任など4議案について審議いただき、原案どおり承認されました。
- また、令和2年度は、14,901m3の木材を販売し、販売額は、67,725千円となったことを報告しました。



公社造林地【郡山市湖南町（西根地区）】

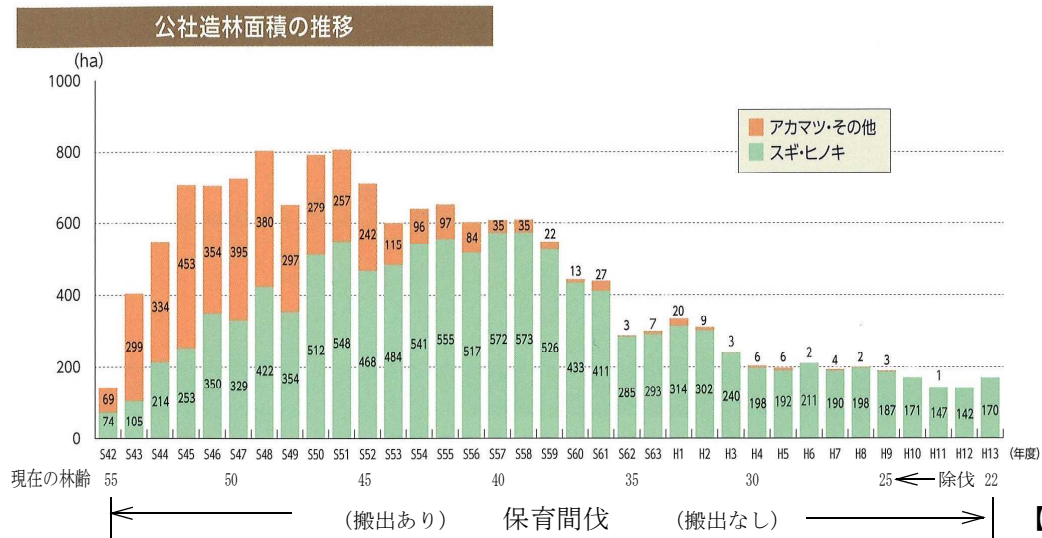
令和3年度分収造林事業について

- 令和3年度分収造林事業は、一般造林事業の補助金を活用し育成途上にある森林の保育管理（下刈、除伐、保育間伐）を実施するとともに、放射線量の比較的高い地域においては、ふくしま森林再生事業により森林の再生に向けた間伐等を実施することとしています。
- また、効率的な事業に欠かすことのできない、作業道の整備も推進する予定です。
- 実施に当たっては、関係機関と連携し効果的な事業推進に努めるとともに、空間線量が0.5μSV/hを超える造林地で搬出間伐を行う場合は、樹皮濃度の測定を実施するなど、安全・安心な木材搬出に努めて参ります。

一般造林事業	下刈	5 ha	1,310 千円
	除伐	3 ha	1,066 千円
	保育間伐	347 ha	254,634千円
	（搬出なし）	196 ha	79,902千円
	（搬出あり）	151 ha	174,732千円
	計	355 ha	257,010千円
ふくしま森林再生事業		74 ha	92,630千円
作業路開設		19,330 m	
	（間伐作業路）	15,100 m	保育間伐に含む
	（ふくしま森林再生）	4,230 m	再生事業に含む
作業路補修		5,000 m	15,000千円
計			364,640千円

ふくしま緑の森づくり公社の事業実績

昭和42年度から平成13年度までにスギ、アカマツを中心に15,429haを造林しました。



今年度事業の実施状況

今年度事業の7月末の契約状況は、早期発注が可能な一般造林事業を先行して契約を進め、同事業は当初予算に対し85.7%、ふくしま森林再生事業は、7月に契約を行い86.8%の執行状況となっています。

事業現場では、若齢林分の良好な生育に向け、下刈作業を実施しています。

【写真：伊達市霊山町下刈現場】 R3.7.26

汚染状況重点調査地域内の公社造林地において、ふくしま森林再生事業（伊達市）で植栽を実施。下草に加えクズが造林木の上部まで繁茂する状況から、昨年度から公社事業で下刈りを実施。現地は30度程度の急傾斜地で足場の悪さに加え、夏の暑さ対策やズメバチ・アシカバチに注意しながら、作業を進めている。 【施行業者：県北森林組合】



※ クズなどのつる性植物を放置すると造林木の生育が阻害される。



ヤマユリ：下刈地にて

経営改善の取組について

有利な木材販売対策の推進 単価契約の取組

分収林の高林齢化や燃料用木材需要が増加していることを背景として、これまで、市場までの運搬経費を考慮すると不採算となっていたC材（曲材などで柱材に向かないもの）も数量がまとまれば、土場において買い取っていただけるようになってきました。このことから、平成29年度から木材会社と単価契約を締結した販売を進めています。今年度も奥地で運搬経費が嵩む施業地の間伐材や病虫害等の見られる木材等は、木材会社2社と単価契約を締結し、木材の搬出促進による販売収入の確保に務めています。

ICT技術の活用促進 航空レーザ測量データの活用に向けた取組

県内では、平成30年度までに25市町村において、民有林の航空レーザ測量を実施しており、公社においても17社員市町村において当データの活用を進めることが可能となりました。

このため、今年度は、当測量データを森林GISに取り込む作業を実施します。これにより、樹種、本数、樹高、胸高直径などがわかり、公社造林地の生育状況を踏まえた効果的な森林整備や、森林の売り払い時などに行う森林評価の効率化（調査時間の短縮や調査委託経費の削減など）につながることを期待されます。

県内の航空レーザ測量実施市町村数 25市町村		
うち 公社社員市町村	17市町村	
福島市	棚倉町	会津美里町
伊達市	会津若松市	南会津町
川俣町	喜多方市	南相馬市
田村市	西会津町	飯舘村
古殿町	柳津町	いわき市
小野町	金山町	

ウッドショックと公社事業

米国に端を発したウッドショックにより、外材輸入量の減少から県内の木材価格は、5月にはスギ丸太などにおいて、例年の1.5倍程度の高値となりました。昨年度末に伐採した木材はこの時期の販売となりましたが、新たに造林地の伐採を進めるためには、森林の調査と評価、契約者との調整、設計、入札などの事務が発生し、伐採業者が決定し実際に伐採に入るまでに半年程度の時間がかかる状況にあります。現在、木材価格は落ち着きを取り戻しつつありますが、このような状況下における対応方法についても、今後の課題と感じました。

公益社団法人 ふくしま緑の森づくり公社

〔本社〕 ☎960-8043 福島市中町8番2号（福島県自治会館5階）
TEL 024-523-4667 FAX 024-522-2517
E-mail fukurin@kb.f.biglobe.ne.jp
〔会津事業所〕 ☎969-6403 大沼郡会津美里町鶴野辺字広町740
TEL 0242-79-1020 FAX 0242-79-1022